

授業科目名	在宅看護実習			担当教員	西村 和美、上野 満里、 西尾 美登里
開講年次	3 年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	90 (2)
必修選択	必修	授業形態	実習	使用教室	
授業の目的	地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、訪問看護で提供する看護援助の方法を学ぶ。また、在宅ケアシステムにおける専門職種間の連携・協働を理解するとともに、その中で果たす看護職の役割を考える。				
到達目標	実習目標 1. 在宅療養者とその家族の療養生活における健康課題を見出すことができる。 2. 在宅療養者とその家族を身体・心理・社会的側面ばかりでなく、環境・文化・経済的側面からもとらえ、健康課題の解決へ向けた援助の一部を訪問看護師と共に行うことができる。 3. 訪問看護に同行し、看護師の臨床判断に基づいた援助について考察できる。 4. 在宅ケアチームの連携の実際が理解できる。 5. 在宅療養者とその家族の看護に必要な態度を身につけることができる。 6. 在宅ケアにおける看護職の果たすべき役割と課題について考えることができる。				
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	レベルIV実習の1つである。在宅看護Ⅰ、在宅看護Ⅱで学修した内容を踏まえ、実践の場でさらに在宅看護を学ぶ。 実習目標を達成するための詳細な到達目標は、本学ディプロマポリシーに掲げる5つの能力「人間の尊厳と権利を擁護する力」「自己教育力」「チームで働く力」「問題解決力」「看護の専門性を探求する力」別に18項目設定しており、評価表（ルーブリック）活用して達成度を自己評価、および他者評価する。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○	○	○	◎	○
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
	1. 実習方法 2 週間のうち、訪問看護ステーション 8 日間を臨地で実習し、学内で 2 日（3 日目、最終日）実習する。各事業所につき学生 2 ～ 3 名ずつで実施する。 訪問看護ステーションでの実習では、受持療養者を数回（原則として 3 回以上）訪問できる方とする。 3 日目の学内実習では、1 回目の同行訪問による情報から全体像をまとめ、看護計画立案を行う。その後、受持療養者に同行訪問する度に、看護師が行う臨床判断やケアの正しい理解と、療養者へのアセスメントを重ね、最終訪問日に学生は、看護計画の一部を訪問看護師とともに実施し、評価を行う。また、受持療養者以外の訪問看護にも同行し（1 ～ 4 件 / 日）、さまざまな背景の療養者の生活と看護を学ぶ。		事前課題：ワークブック（7 月配布）活用し、実習前に在宅看護Ⅰ、Ⅱを復習しておく。 実習準備：実習要項の在宅看護実習の該当欄をよく読み、実習目的、目標を理解する。 実習直前：在宅看護実習で学びたいこと（自己の実習目標）について、A 4 用紙 1 枚にまとめる。	5 日 1 時間 1 時間	西村 上野 西尾

カンファレンスは、中間と終了時の 2 回 行い、中間カンファレンスでは、受け持ち 療養者の全体像、関連図、実施計画の発 表を行い、終了カンファレンスでは、最終 訪問の計画の実施・評価と臨床判断モデ ルに基づいた援助、全体的な学びを討議 する。最終日の学内実習では、グループ討 議や全体討議を通して学習のまとめやフィ ードバックを行う。 2. 実習施設（訪問看護ステーションのみ 記載） 福岡赤十字訪問看護ステーション、嘉麻 赤十字訪問看護ステーション、今津赤十 字訪問看護ステーション、宗像医師会訪 問看護ステーション、アップルハート訪問 看護ステーション（糟屋，小倉南，福 岡，宗像、福岡東）、訪問看護ステー ションむなかた、赤間病院、訪問看護ステー ション、香椎原病院訪問看護ステーショ ンあやすぎ、なごみ訪問看護ステーショ ン、みずき訪問看護ステーション、楽らく サポートセンターレスピケアナース、訪問 看護ステーションえんまん、エフコープ訪 問看護ステーション福岡南																
先行履修 科目	3 年前期に開設する全ての必修科目															
テキスト	在宅看護Ⅰ・Ⅱで使ったテキストおよび資料															
参考文献	実習に関連する文献は学生各自で収集し、活用する。															
評価方法	実習評価表（88%），事前課題を含む取組状況（12%） 遅刻・早退：1 点、欠席：2 点の減点となる。 ディプロマポリシーとルーブリック評価表（項目数 / 評価点）の内訳 <table><tr><td>ディプロマポリシーの 5 つの力</td><td>項目数 / 評価割合</td></tr><tr><td>人間の尊厳と権利を擁護する力</td><td>2 項目 / 12 点</td></tr><tr><td>自己教育力</td><td>6 項目 / 20 点</td></tr><tr><td>チームで働く力</td><td>3 項目 / 16 点</td></tr><tr><td>問題解決力</td><td>6 項目 / 32 点</td></tr><tr><td>看護の専門性を探究する力</td><td>1 項目 / 8 点</td></tr></table>				ディプロマポリシーの 5 つの力	項目数 / 評価割合	人間の尊厳と権利を擁護する力	2 項目 / 12 点	自己教育力	6 項目 / 20 点	チームで働く力	3 項目 / 16 点	問題解決力	6 項目 / 32 点	看護の専門性を探究する力	1 項目 / 8 点
ディプロマポリシーの 5 つの力	項目数 / 評価割合															
人間の尊厳と権利を擁護する力	2 項目 / 12 点															
自己教育力	6 項目 / 20 点															
チームで働く力	3 項目 / 16 点															
問題解決力	6 項目 / 32 点															
看護の専門性を探究する力	1 項目 / 8 点															
教員等の 実務経験	看護師として臨床経験のある教員が、在宅看護での経験を活かして実習指導を担当します。															
メッセージ																